

2020年度事業報告書

一般社団法人東京都バスケットボール協会
専務理事 小西道雄

< 方針 >

日本バスケットボール協会の理念「バスケットボールで日本を元気にします」を受け東京都バスケットボール協会も継続的な組織活性化・充実を目指した積極的な取り組みを推進していく！
新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、バスケットボールを楽しむ人が増え、楽しむ安全な競技環境を構築していく

< 重点実施事項 >

- 1) 新型コロナウイルス感染防止対策
- 2) 競技力向上事業(国体・若手指導者の育成・シニア競技者への取り組み)
- 3) アンダーカテゴリーの育成環境整備
- 4) 人材育成(審判・指導者・TOの育成養成活動)
- 5) 東京2020に向けた活動推進
- 6) JBAインテグリティ委員会との連携(暴力暴言の根絶に向けて)

【 活動状況と結果 】

1. 財政面

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け財務的には大きな影響を受けた年であった。事業が開催できずその分支出がなく結果的にプラス計上になったが、関係する皆様には大変なご努力をいただいたことになった。

【収入】:対前年比△33,684k

- ① 登録チームの減少(試合ができないと登録しない・・・)△5,784k
- ② 事業費として計上している各種大会が中止になり減少△3,285k
- ③ 国体の中止等で国体派遣費、都体協強化費の減少△11,545k
- ④ 審判・指導者等の講習会の開催ができなかった△6,972k

【支出】:対前年比△36,367k

- ① 国体関連強化費△15,414k
- ② 大会事業費(夏季大会をはじめ多くの大会の中止)△8,273k
- ③ 審判・指導者育成事業△4,485k
- ④ 各種連盟補助費(各種連盟主催試合の中止)△3,235k
- ⑤ 管理費△1,590k

2. 強化・育成関連

- 1) ミニ国体(神奈川県小田原市)、本国体に当たる鹿児島国体が、コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になり、残念な結果であった。
- 2) アンダーカテゴリーの育成事業
U12関連の育成事業のほかには開催できず厳しい状況になってしまった。

3. 全国大会の中止(新型コロナウイルス感染防止対策のため)等

- 1) JBA主催、東京都協会主管の全国大会が、コロナウイルス感染防止対策のため開催が中止になったなか感染対策を行いながら実施できた。
 - ① 全国U-15バスケットボール選手権大会
 - ② 東京都の大会、関東ブロック大会が中止となり東京都の代表を送ることができない大会であり(非常に残念・悔しい)、その中で開催した全国ミニバスケットボール大会は、緊急事態宣言で本来都協会が主管であるべきであったが主管を降りた(辞退)ことになった。その中でも毎年の運営ノウハウを持っている都協会ミニの役員が裏方として活動していただいた(深謝!!)。

4. 東京都協会年間表彰

- 1) 社会人連盟推薦
…男子黒田電気(高松宮記念杯第3回全日本社会人地域リーグチャンピオンシップ準優勝)
- 2) 大学連盟推薦
…女子 東京医療保健大学(第72回全日本大学選手権大会 優勝)
- 3) 高体連推薦
…女子 東京成徳大学高等学校(第73回全国高等学校選手権大会 準優勝)

以上